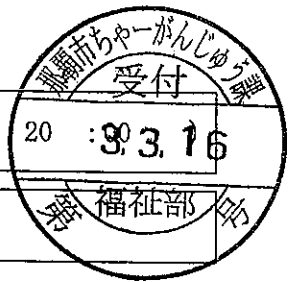


小規模多機能型居宅介護ノア



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(17:30 ~ 20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	9人	人	人	15人

**前回の改善計画**  
 目の離せない利用者も多く新規利用開始時に多くの時間を取って接することが難しい場合もあるが、午前午後のレク活動やトイレ誘導、入浴等、短い時間でも積極的に声掛けを行いフェイスシートには無い本人からの情報収集や情報の相違点を確認する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 新規利用者開始時には、利用者情報チェック表を貼りだして、気づいた点を記入していくように行った。関わりの中から、フェイスシートとの相違点、気づいた点を全体ミーティング(1か月経過)で話合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	9			15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	10			15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	9			15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10	3		15

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ※積極的に声掛けを行い、本人からの情報収集や情報の相違点の確認を行っている。積極的に関わりを持つように心掛けている。  
 ※訪問時や通所時、できるだけ近くに座り話を聞いたり、普段の生活の状況を聞いたり、コミュニケーションに努めている。  
 ※送迎時に家庭環境や、トイレ案内時、入浴時に利用者のニーズが何であるか声掛けしている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ※受けた要望や希望について、記録がなく情報の共有がなされていない。  
 ※認知症が強い方の本人のニーズが聞き出せない。  
 ※家族が不在でコミュニケーションが取れない事がある。  
 ※1日の業務をこなすことで精いっぱいのある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 新規利用者の気づいた点を、新規利用者情報シートに記入するようにし、フェイスシートに記載されていない情報を記入する。その際、記入した職員の名前も表示。2週間経過ミーティング(終礼)を行い、月に1度の全体ミーティングでは、支援方法や内容の確認を行い、より良いケアに繋げていく。

小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 9月 30日 (17:30 ~20:00 )
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	4人	人	15人

前回の改善計画	日によってはリハビリが行えない場合もあるが、忘れて行えていない場合もある。可能な限りリハビリを行えるように業務改善を行い日々の日程の中に組み込む。
前回の改善計画に対する取組み結果	その日のリーダーの声掛けにより、リハビリは行えているが、時間帯によっては出来なかったり、忘れていることもある。リハビリを行うことによって、ADLを維持できている方もいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	12	2		15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	10	3		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		10	5		15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	11	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>※生活リハビリの中で、可能なリハビリは行えている。本人の「～したい」を声掛けを通して引き出すように心掛けている</p> <p>※状態の変化により、プランに変更が必要な場合、ミニカンファレンス等で発信し検討している。</p> <p>※立位訓練、歩行訓練等、スタッフから声掛けをする前に、利用者から「～したい」の声が聞かれる。</p> <p>※ケアプランに基づいたモニタリングについては確実にしている。変化があればミーティングで話し合い対応ができている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>※本人の目標に沿った対応はできているが、本人のできることを職員が時間がないという理由で、つい手を貸してしまっていることがある。</p> <p>※複数の利用者のリハビリ時間が重なり、リハビリが出来なかったり、忘れていることもある。</p> <p>※「～したい」を目指した関わりが、十分できていない時がある。</p> <p>※通所 (利用日) のモニタリングは行えているが、月1度の家族、本人とのモニタリングの内容を把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者それぞれの身体機能を把握し、できることへの支援を、担当職員を中心に行う。当日リーダーとなる職員が、リハビリを行う利用者を把握して、他の職員に声掛け時間を調整して取り組んでいく。</p>	

小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年9月30日(17:30 ~ 20:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	4人	人	15人

前回の改善計画	新規利用者の担当職員中心に「以前の暮らし方」の把握を行い周知する。新規利用者の「以前の暮らし方」については次回のミーティング(1ヶ月)までには本人及びご家族から情報を収集し職員全員で確認できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	「以前の暮らし方」について、各担当職員が家族から聞き取りが出来ていない。コミュニケーションの中から、本人の以前の様子、過ごし方が聞かれる事があるが、用紙に書き出せていない為、全職員が把握できるよう工夫する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		8	7		15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	8			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	7	4		15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	11	1		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	9	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
※新規利用者の気づいたことや情報を職員が書き出している。 ※職員同士で情報を交換し共有できている。利用者との会話の中で、情報を得ることがある。 ※利用者の気持ちや訴え、体調の変化がある時は、朝礼や終礼で申し送りをし、職員間で共有できている。 ※利用者の担当職員が以前の暮らし方について聞き取りをしている事もあり、参考になり興味や関心の会話がしやすくなった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
※入浴、排泄と本人の出きることまで介助することがある。 ※夜勤者が受けた申し送りを日勤帯に伝えているが、記録が無い為、知らない職員もお情報共有が出来ていない。 ※新規利用者の「以前の暮らし」について、情報が少ない。まとめが出来ていない。 ※本人の声にならない声について職員でも、何故そうなのか、確信が持てず支援に結びつかない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「以前の暮らし」について、担当が作成途中(10個未満)でも、1か月を目安に一度回覧を行い、担当以外の職員も情報があれば記入していく。また、夜勤帯の情報として、必要なことは口頭での送り以外に申し送りノートに記入し、職員間の共有に努めていく。	

小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年 9月 30日(17:30 ~ 20 :00 )
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	4人	人	15人

前回の改善計画	民生委員の方々には運営推進会議や行事等に参加してもらっているが、管理者やケアマネ以外の職員とは関わりを持つことが少ない。年に1回は民生委員との交流ができるように計画を立てる。
前回の改善計画に対する取組み結果	民生委員との関わりは、管理者・ケアマネ以外は出来ていない。運営推進会議では、コロナの影響の為、人数を制限して行い、民生委員などの参加がほぼできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	9	4		15
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5	5	2	15
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9	5	1	15
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	4	7	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ※本人の生活スタイル、人間関係、家での過ごし方など会話の中から把握、確認をしている。 ※定期的な音楽療法の資源活用があり、利用者も笑顔で参加されている。 ※本人と家族、介護者との関係が良好となるよう、近所の方にもお会いした時は、挨拶をしている。 ※月の行事(誕生会、敬老会等)は、できる範囲で実施している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ※コロナで地域とのコミュニケーションが取れていない。 ※本人が自宅で過ごす日(通所休み)等、大まかなこと把握しているが、細かいことはできていない。 ※本人の人間関係や地域との関係性については、把握できていない。 ※本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源については、把握できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コロナの感染状況を確認しながら、ドライブを通して本人の思い出の場所を回る等、外出支援につながる取り組みの計画を立て実行する。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年9月30日(17:30～20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5人	5人	5人	15人

前回の改善計画	再度、重度利用者や発語の少ない利用者の担当職員を中心とし、定期的な外出支援等を企画し実行していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	重度利用者の外出支援の計画が進まなかった。声にならない本人の思いをうまく感じ取れていない。通所が休みの日に、ドライブに出かける事もあると家族情報が聞かれている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	7	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	7			15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	11			15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	8	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ※他事業所と連携を取り、利用者について相談やアドバイスを受けることが出来ている。 ※朝礼、終礼を通して利用者の日々の変化に対応している。 ※本人や家族ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が出来ており、急な依頼にも出来るだけ対応している。 ※本人のやりたい事を聞いたりして、敷地内を散歩したり、ドライブに行き対応している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ※定期的な外出支援がコロナ関係で出来ておらず、本人と地域との資源の関係性が途切れてしまっている。 ※ホール内で落ち着きがなく、歩行している利用者への注意や声掛けは良いが、改善がなく同じことの繰り返しである。 ※重度利用者の外出支援が出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 落ち着かない利用者に対して、良かった対応を申し送りノートへ記録し、職員間で情報共有を図る。ケアの改善が必要な時は、その都度終礼で話合うようにする。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(17:30～20:00)

6. 連携・協働

メンバー 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	6人	3人	15人

前回の改善計画	行事以外の地域で行われる防災講座や包括支援センターが行う地域ケア会議に職員が参加できるように調整を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナの影響により延期や中止が見られた。管理者、ケアマネ以外の職員の参加が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	6	2	3	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	4	6	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3	2	6	4	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	8	4	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ※担当者会議に職員が出席し、情報の共有が出来ている。 ※本人に合った適切なポジショニングや、ノアでできるリハビリ等を、訪問リハビリの職員から助言を得て実施できている。 ※サービス機関との会議を通じて、利用者が過ごしやすい環境を整えている。 ※石嶺中学校への福祉体験を実施している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ※現在、ほぼ全てのイベント活動が中止になっており、実施できていない。 ※自治体や包括支援センターとの会議には、管理者、ケアマネは参加しているが、他の職員は参加が出来ていない。 ※管理者やケアマネが会議に参加しており、情報が分からないので事業所内での工夫が見られない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域で行われる防災講座や、地域ケア会議が例年通り行われる際は、管理者、ケアマネ以外の職員の参加も時間調整をして参加出来るようにする。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年9月30日(17:30~20:00)
7. 運営	メンバー	15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	3人	1人	15人

前回の改善計画	ミーティングに参加できない職員は確実にミーティング前の検討、確認、連絡事項の記録用紙に1つ以上意見を書き、ミーティングで自分の意見や利用者の思いを伝えることができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	事前に次回のミーティングで話合う内容を記録用紙に記入できるようにして、スムーズにミーティングが行えるように取り組んだ。記入する職員がほぼ決まっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	7	5		15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	10			15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5	3	2	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	6	4	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ※利用者、家族からの意見などはその日のうちに終礼にて情報共有している。 ※利用者、家族からの意見や苦情があった場合、ミーティングで話し合い改善できるように取り組んでいる。 ※ミーティングに参加できない職員も、意見や利用者の思いを伝えることが出来ている。また、意見、相談が直接、連絡ツールで主任へ言うことが出来ている。 ※利用者の状態と家族の意見や苦情をミーティングで共有し、業務や運営に繋げている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ※地域に必要な拠点となるような取組みを行っていない。行っているかもしれないが、よくわからない。 ※コロナ対策で地域との交流は限られているが、その前から取組みが薄い。ミーティングの月日の調整はされているが、職員へのミーティングへの参加は個人の意識に差が見える。 ※家族、介護者からの意見、苦情、または解決方法が全職員に周知されていない事がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) リーダー以外の職員も連絡ノートを確認するようにする。また、家族からの要望・苦情があった場合、その内容をコピーして申し送りノートへ貼り、職員へ周知し対応する。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月30日(17:30 ~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	7人	3人	15人

**前回の改善計画**  
 ケア方法は常に新しくなっている。個人のスキルアップを行う為にも職場内研修だけでなく、最低年に1回は職場外研修を自分で探し受けるようにする。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 研修に対しての、個々の温度差があり、積極的に受けたいという声は少なかった。受講したいと希望する研修もコロナの影響により、延期や中止が続いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	4	4	3	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	6	4	15
③	地域連絡会に参加していますか		3	4	8	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	9	2	2	15

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ※職場内でのDVD研修は毎月行い、レポート提出をしている。スキルアップのための研修は、個々で参加している。  
 ※事故やヒヤリハット等、リスクマネジメントは職員間の情報共有が密の為、大事故に至っていない。リスクマネジメントに積極的に取り組んでいる。  
 ※ミーティングにて、インシデント・アクシデントの振り返りをし、再発防止を行っている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ※資格取得やスキルアップの為の研修に参加できていない。(必要性は感じている)  
 ※研修の延期や中止で、参加できない場合もある。  
 ※研修情報はあるが、日々の業務に追われゆとりが持てない。  
 ※地域連絡会には、職員全員が参加するわけではない。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 研修の案内を、職員が見やすい位置(事務室)に張り出し、個々で確認を行いながら、積極的に興味ある研修やスキルアップにつながる研修に参加が出来るように取り組む。



小規模多機能型居宅介護ノア

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年9月30日(17:30 ~20:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	15名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	4人	人	15人

前回の改善計画	帰宅前の連絡帳記入で排泄等記録を一括で行うことがある為、それに時間が掛かり、記録忘れが無いように、離れている職員から大声のやり取りが生まれている。記録の方法を検討し記録時間の短縮と大声で伝える環境がなくなるように各自の意見をミーティングで話し合い実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果	意識して行うようにしている事もあるが、排泄(排便)の確認の為に利用者の中で、伝えることが見られる。帰宅前の排泄確認を、離れた場所からのやり取りがある。トイレへ案内した職員が、その都度記録するように取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14	1			15
②	虐待は行われていない	14	1			15
③	プライバシーが守られている	6	7	2		15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	4	2	2	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	6			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
※身体拘束・虐待についての勉強会が出来ている。また、身体拘束について家族からの要望があっても、事業所、法人として拘束は行わないと対応した事はよかった。 ※身体拘束は行われていない。本人の行動制限も行っていない。 ※プライバシーや個人の情報の管理は適切に行われている。 ※排泄時や入浴時は、プライバシーが守れるように気をつけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
※排泄時のやりとりが、時々(多忙時)大声になっている。 ※ベッド上でのおむつ替えの際、タオルをかけるなどの配慮が足りない時や、トイレでドアを開けたままにすることがある。 ※排泄記録もそうだが、利用者の情報がホール内に聞こえることがあり、気にする利用者もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の情報は、周りを意識して事務室等とするなど、プライバシーを守るように職員一人ひとりが心がけるようにする。トイレでの見守り、介助をする際は、ドアを閉め当たり前の事として利用者への配慮に意識して実行する。	